

2022 まちづくりでつながる日 報告

- 1 日時 令和5年1月30日(月) 13:30~16:40
- 2 会場 松江市市民活動センター交流ホール (松江市白瀧本町43 STIC)
- 3 目的 (「まちづくりを考える日」で行った地域の取り組み事例を受けて) 地域の課題を発見し、その解決に向けてアイデアを検討したり、提案できる場を提供することで、市民、NPO、企業、行政等が知恵を出し合い、充実化を図りながらつながって、新たな価値を創造する一助とする。
- 4 内容 市民活動・地域活動の提案
- 5 プログラム 【開会&導入】 「まちづくりを考える日」の成果の共有
【第1部】 提案事業の発表・共有
【第2部】 分科会(グループワーク)
【第3部&閉会】 全体会(分科会の成果の共有)
- 6 「まちづくりを考える日」成果共有事業
- ・ 遅江地区お助け隊事業(遅江元気塾)
- 7 提案事業
- ・ 本庄空き家相談センター(本庄まちづくり推進協議会)
 - ・ 田んぼアート(忌部自治協会)
 - ・ 空き家を活用した居場所づくり(松江SPEED)
 - ・ 大谷地区交流促進事業(大谷地区森の家プロジェクト)

8 参加状況

区分	参加者数
企業	24
行政	6
市民	5
市民活動団体	5
公民館	5
大学生	4
松江市町内会・自治会連合会	2
松江市議会議員	2
まちづくり企画運営委員	2
松江市社会福祉協議会	1
参加者 合計	56
ファシリテーター	8
提案団体	7
事務局	15
合計	86

9 当日の様子

(1)【開会&導入】「まちづくりを考える日」の 成果の共有

令和4年8月「まちづくりを考える日」
で発表いただいた「ちくや一心助け隊」の
取り組みを参考にして、令和4年末に新たに
始められた遅江元気塾の『遅江地区お助け
隊事業』を発表いただきました。



(2)【第1部】提案事業の発表・共有



提案団体の発表の様子

(3)【第2部】分科会(グループワーク)



グループワークの様子

【第3部&閉会】全体会(分科会の成果の共有)



分科会の成果共有の様子

【イベント終了後】応援カードの記入・貼付

参加いただいたみなさまに、提案団体に対して、「応援カード」を書いて貼っていただきました。

応援や励ましの言葉、お手伝いできることやアドバイスなど、様々なメッセージをいただきました。



10 アンケートより(抜粋)

【回収状況（事務局、提案団体、ファシリテーターを除く）】

参加者数	回収数	回収率
56	53	95%（小数点以下四捨五入）

- ・地域の発展が起点となり、企業の発展につながると考えております。今後も参加させていただきます。
- ・空き家問題に興味がありましたので、非常に参考になりました。グループワークはもっと話したい気持ちにもなりましたが、ちょうどいい時間と思えました。様々な考えを聞け、刺激的でした。
- ・とても良い会でした。今回、本庄空き家相談センターのグループワークに参加させていただきましたが、リアルな問題点、課題点を知る事が出来た時間でした。ベース作り、これから役立つ事があれば、積極的に活動できたらなと思えます。他、田んぼアート、松江 SPEED、大谷地区の皆さんも沢山の意見と具体的な案が出ていておもしろいな！と思えました。
- ・幅広い方々と関わりながら意見交流できる機会として、本当に良い経験になりました。互いに応援できる、様々な人をつながりながらまちづくりについて考えていく本イベントにすごくいいなと思えました。ワーク時間がもりあがり、深堀するにはもう少し時間がほしかったところですが、色んな人の考えに触れることができる時間となりました。
- ・具体的な活動について話し合うことができた点がとても良かったと思います。様々な立場の方が参加される会に出られたことも有意義でした。ありがとうございました。
- ・自分事として、同じ課題を感じています。個人ではなく、地域を取り込んでどう活動していくのか、みなさんの発表がとてもすばらしく参考になりました。本当にこの会が「つながる」ことになると実感しました。
- ・和やかで良かったです。ファシリテーターの手腕が光っていました。
- ・空き家を活用した居場所づくりのグループワークに参加させていただきました。その事業も資金不足、人材不足が課題だと思えます。話し合いの中で、様々な年代を巻き込むということがありました。高齢化が進む中ではありますが、高齢者も若い世代も一緒に楽しめる場づくりが必要だと感じました。
- ・事例について、さまざまな意見が出て盛り上がりました。さまざまな課題がありますが、市民や団体、企業が協力しあいながらこの松江を盛り上げていけるといいなと思っています。
- ・様々な業種の方からのお話を聞かせて頂き勉強になりました。ファシリテーターの方がうまく

まとめて下さったので、話がしやすかったです。ありがとうございました。

- ・ 多種多様な方と意見を出しあって楽しかった。思わぬ意見など参考になりました。時間に追われ気味でしたが、これぐらいで丁度よいと思う。
- ・ 大変有意義な時間を過ごすことができました。各団体様の発表を聞き、課題点等少しではありますが理解することができました。弊社、建設業でございます（土木、建築、住宅）。今後、どのように協力できるかまだ分かりませんが、お役に立てることがありましたら、うれしく思います。
- ・ ありがとうございました。もっと話をする時間が欲しいなと思える会でした。得た知識や情報を大学に貢献していきたいと思います。
- ・ グループワークについて事前に考えて参加すればよかったと、少し反省しています。このためか、時間が少なく感じており、もっと議論を深められたなと思います。
- ・ 企業の方や学生など様々な立場の方との意見交換は広がりがあり、勉強になりました。課題や地域性がちがっても、自分の地域で活かせる考え方やアイデアがありました。応援をしあえる関係性づくりとなり、とてもあたたかい雰囲気の中で意見交換することができ良かったです。
- ・ 地域活力につながる良い機会でした。
- ・ いろいろな人との出会いがありとても良いと思います。
- ・ 今回、4つの事例に対して、様々な年齢、職種の方から意見交換等をする事が出来、様々な点から物事を考える事ができたので非常に勉強になった。
- ・ 非常に有意義なイベントと思いました。今後も継続して「まちづくりでつながる日」が開催されることを楽しみにしています。今回は課題の数（1つの内容に複数のテーマ）、人数（8人）に対する時間としては短すぎるかなと思いました。テーマをしぼる、1チームの人数をしぼるとより良いイベントになるのではと思いました。
- ・ 田んぼアートのグループワークに参加させて頂きましたが、課題や困りごとについては自分たちが持っている課題と重なる事もたくさんあり、アドバイスをしながら自分自身も大変勉強になりました。参加させて頂きありがとうございました。
- ・ 今回は、参加者の皆様の固有スキルレベルが高く、有用なディスカッションができたのではないのでしょうか！一心助け隊の活動が遅江地区の活動に「つながった」ことが素晴らしい！！
- ・ 島根県のまちづくりに関するイベントに初めて参加させていただきました。ITの観点で良いアイデアを出せば良かったのですが、ありきたりな意見になってしまい、もう少し良い

アイデアを出せれば…と思いました。今後もこういう機会に積極的に参加し、少しでも貢献したいと思います。

11 まとめ

初開催であったが、参加者の方やアンケートから「幅広い方と関わりながら意見交換できる機会として、本当に良い経験となった」「様々な立場の方との意見交換は広がりがあり、勉強になった」「グループワークを通じて想像以上に新しい発見や人とのつながりを楽しめた」などの声をいただき、『地域の課題解決に向けて様々な方が知恵を出し合い、充実化を図りながらつながって、新たな価値を目指していく』という本イベントの目的を一定達成できたのではないかと考える。

また、各事業のリアルな問題点、課題点を知ることができたとの声もいただいております。各提案団体の事業を知っていただく良い機会になったと同時に、地域の実情や、事業を行っていく上での難しさ、悩みなど現実的な厳しい側面も共有することのできた有意義な時間になったのではないかと感じている。

各提案団体の皆さまについても「たくさんの意見をいただけて、(自分たちの事業について前向きな気持ちになった)」「たくさんの方とつながることが出来た」「一緒に一生懸命(自分たちの事業の)困りごとを考えてくれてよかった」「本当に楽しかった」などの感想をいただき、グループワークの成果物や応援カードについても、お渡しした際に大変喜んでおられた。提案いただいた団体にとっても、今後の事業につながる意味のある会になったと考えている。

事業の内容については、グループワークのあり方、特に時間やグループの人数などについてご意見を多くいただいたので、より参加者の皆さまが満足できるようブラッシュアップしていく必要がある。

参加者については、もう少し若い方や女性が増えたら、出てくる意見の幅がもっと広がり良くなるのではないかとのご意見があったため、周知のアプローチの幅を広げたり、開催時期、日時を見直すなどして、様々な方に参加いただけるよう検討していきたい。

本イベントの企画運営にはまちづくり企画運営委員の皆さまに携わっていただいている。今回初めての開催にあたってたくさんの有益なアドバイスをいただき、より良いものとなるよう一緒になって創り上げてきた。会場運営やイベントの詳細について、次年度に向けて修正したり、検討すべき点は多く残されているが、次回に向けても引き続き、まちづくり企画運営委員の皆さまをはじめ、様々な方にご相談させていただきながら、連携し、よりよいイベントとなるよう努めていきたいと考えている。